

「信濃教育」目次集

毎号に登載したもの
口絵「今、教師や子どもは」
本会の動き（前月分）
インフォメーション
編集後記

〔標題〕

〔筆者名〕

四月（一四九三号）

巻頭言 主体的に取り組むきっかけは？

巻頭提言 二十三年度の出版に当たっての思い

わたしたちのねがい

△テーマ 私が大事にしていきたいこと、私にこだわりたいこと▽

自然体験活動の教育的意義

日々の授業改善をめざして―国語「読むこと」の実践から―

よりよい社会を形成する個を育てる―自分の言葉で考え、みんなで話し合っ

算数的・数学的活動を構想するには

算数の授業で、私が大事にしていきたいこと

算数的・数学的活動を構想するには

算数的・数学的活動を構想するには

算数的・数学的活動を構想するには

栗林 勝幸

H君との出会いから―蓬生麻中 不扶自直―

学びの積み重ねによって、自己を伸長してい

く

表現する楽しさ 感じ取る喜び 福澤 弘子

美術館とのつながりで育つ子どもたち

美術館とのつながりで育つ子どもたち

体育と小学校の学級経営

表現運動「火花」―「表現の工夫」を共有し

ながら―

自分の成長の自覚を積み重ねて

特別活動から「望ましい集団活動」を考える

三つのことを心に

わたし流の外国語活動

私が大事にしていきたいこと―「教育研究所

で自分は何を学んだか」を振り返って―

宮下 聡

こころの勉強って、楽しい 橘 佳乃子

キーワードは「やりがい」と「あこがれ」

丸山 稜

勉強法でモチベーションが上がるはず

東日本大震災と長野県北部地震

編 集 部

大日方秀康

五月（一四九四号）

巻頭言 実践者としての手応え

巻頭提言 問うところに壁あり、壁あるところに

前進あり

△テーマ 教師としての私を変えたもの▽

教師の輪郭

教師としての私を変えたもの

ものごとの背景を考えよう、心からそう思っ

た時： 上條 隆久

教師としての私を変えたもの

教師としての私を変えたもの

中条中学校で学んだこと

「中学生」との出会い―学級に目を向け、大

きく成長していった生徒達

折り返し地点

私を変えてくれたヤギたち

△九年間「学ぶ」ということ―青年教師フォー

ラム「桐分校から『学び』の意味を考える」

に参加して―

「出会い」とともにふり返って

私の尊敬する先生

大事にしたいこと

これからも本当の優しさをもって

自分の教育の原点

子どもたちに里山の体験を

気持ちを届ける

信州の山々と人々をこよなく愛した父・木村

素衛

信州教育を導いた人々

想いの花

六月（一四九五号）

巻頭言 「信濃教育」五月号

巻頭提言 子どもが切実に求めている授業と学び

の質―自分に引きつけて学ぶということ―

△テーマ 学力問題を問う―学力向上に向けた取り組み▽

秋田県全国学力・学習状況調査、四年連続ト

ップクラスの要因

ひとつひとつの事実が生み出すもの―「子ども

もとの出会い直し」を問い続ける―

社会科における思考・判断型学習への取り組み

西の子は かしこく なかよく たくましく

―授業力アップをめざして―

学力問題を問う―学力向上に向けた取り組み

―

坂城町学力向上事業（小中連携）の取り組み

から

基礎基本の確実な定着を図り、活用力を育て

る指導―朝学習「スタディタイム」の取り組み

生徒の学習力を育てる授業づくり

堀口 潔

凡事徹底から創造へ 小林 順一

愛し子よ 花も実もある人となれ 今井 睦俊

こぶしの花が咲くころに 中島 滋子

クジャクサボテンとA先生 田中 裕美

教師としての夢 西沢 春奈

感謝 百瀬 薫

魂の歌声 葎本 直樹

「星川」に育って 小林 和希

小曾部分校への思い 高田 正樹

信州の山々と人々をこよなく愛した父・木村

素衛 2 生い立ち 張 さつき

木村素衛先生 信濃教育博物館

あきらめない 田中 敏子

教育実践賞特選（個人）

地域素材の教材化への道すじ―東御市の名所

海野宿を歩いて― 山浦 光雄

七月（一四九六号）

巻頭言 長野県の子どものたちの思いとして

巻頭提言 いま求められる授業とは何か―確かな

学力の向上を目指して 北 俊夫

△テーマ 学力問題を問う―授業改善を通して▽

算数・数学教育の真正な学力向上のために

宮崎 樹夫

日常授業の底上げに向けた授業研究の在り方

須山 千才

「浜小ドリル」でする、思考・活用・表現の力をつける授業と家庭学習への取り組み

北澤 裕美

数学の授業学習の手だての広がり求めて

力 尚宏

二十二年長野市教育課程協議会数学科研究

青木島小学校の授業改善の取り組み―NRTの小問分析を生かして―

田中 武

「わかる」ことが実感できる授業を求めて―

岸田 雅彦

「教えて考えさせる授業」の実践から―

矢澤 善夫

小規模校の良さを生かして

高梨 雅夫

その子らしい学力の伸長―安曇塾から始まる

北村 雅

学力向上―

宮内 久

学校目標「勉強せよ」具現化の取組―家庭学習の充実に向けて―

田中 大志

出会いの中から

春原 竜一

先輩に学ぶ

荒深 重徳

私の尊敬する先生

加藤 学

子どもと夢を

来賓祝辞

平成二十三年度 事業計画概要

八月(一四九七号)

巻頭言 切り花と中学生

〈特集 第百二十五回 信濃教育会総集会〉

総集会スナップ

教師としての専門性をより確かなものに

宮本 経祥

来賓祝辞

荒深 重徳

加藤 学

来賓祝辞

平成二十三年度 事業計画概要

八月(一四九七号)

巻頭言 切り花と中学生

〈特集 第百二十五回 信濃教育会総集会〉

総集会スナップ

教師としての専門性をより確かなものに

宮本 経祥

来賓祝辞

荒深 重徳

加藤 学

来賓祝辞

平成二十三年度 事業計画概要

八月(一四九七号)

巻頭言 切り花と中学生

〈特集 第百二十五回 信濃教育会総集会〉

総集会スナップ

教師としての専門性をより確かなものに

宮本 経祥

自信を持って子どもと向き合うために

上原 雄次

見せるこの意気、全校登山!

上島 明裕

穂をつなぐ

小須田浩志

学校が閉じるとのこと

雑誌図書編集部

信州の山々と人々をこよなく愛した父・木村

素衛 3

若き日の思考・学問そして師弟愛

張 さつき

務台理作先生

信濃教育博物館

摘み取る己とは

伴野 健

子ども達に、よく噛む食習慣を身につけさせたい!そんな思いで開発した咀嚼回数カウント装置「かみかみセンサー」

安富 和子

九月(一四九八号)

巻頭言 確かな「もの」の有無

巻頭言 「新しい学力観」再考のとき

〈テーマ 小中連携で「生きる力の育成」を〉

小中一貫が義務教育を変え

澤野由紀子

高遠小中学校の三校連携―共通理解と継続・発展性を大事にして―

伊那市立高遠小学校

伊那市立高遠北小学校

伊那市立高遠中学校

高寺 威

共に学びに向かう集団づくりのスタートを考

える―人とかかわりを大切に―

牧原 雅

対象(ひと・もの・こと)と関わり合いながら学びを深める子どもたち―三名人をめぐりて―

飯綱山に抱かれて

石川 智之

これまでの出会いに感謝して

笠原 富夫

本当の優しさ

松井 良平

T先生のまなざし

谷内 祐樹

私の夢

宮坂 佳枝

常にチャレンジ

武井 孝夫

「あなたに影があるなら……」

藤澤康一郎

連絡

子どもたちの姿に思う

塚田 道彦

信州の山々と人々をこよなく愛した父・木村

素衛 5

子どもに寄せる心・学生を想う心

張 さつき

村松民治郎先生

信濃教育博物館

『心の使い方』を伝える

小野 玲子

教育実践賞特選(グループ)

思考・活用・表現の力を育てる「浜小ドリル」―ドリルシステムが子どもの算数的活動への意欲を高める―

講演会

考える力

パネルディスカッション

校内研修と同僚性を問い直す「学びづくりと関係づくりをめぐる」その2

山崎 聡子 井澤 昭 高田 治

庄司 康生 直江 寛志

閉会のあいさつ

後藤 正幸

総集会日程

総集会の記録

新しい旅立ちを前に 雑誌図書編集部

十一月(一五〇〇号)

巻頭言 誇らしく

◇一五〇〇号に寄せて◇

自信と自負を新たに  
教育に望むこと―特に中等教育に望むこと

後藤 正幸

そこにいるということ

有馬 朗人

ただ遣すがごとく

岡田 勝明

人間に忠実な、自力で誇れる明日の信州教育

上田 薫

への期待―まやかしの学者の型にのるメンツ

田島 薫

と自立力を憂う―

川田 殖

雑誌『信濃教育』に育てられて

梶田 叡一

信州教育の印象から―古典の読合せと授業研

堀一

究と―

わが教師十戒―道・遠く険しき今・想い新た

毛涯 章平

に―

信州自由教育―その希求の諸相と継承すべき

北村 和夫

価値―

大村はまが言いそうなこと

荻谷 夏子

◇当時を懐古して◇

宮本 経祥

変わってはならぬものを見据えて

牛越 充

地域の不易なるものへの点火と先駆性に学ぶ

道徳の授業と私

後藤 真道

信州教育の原点 林芋村先生の歌碑を訪ねて

丸山 三郎

信州教育と「信州教育の日」

高橋 基

◇座談会歴代編集主任◇

「創刊一五〇〇号」を迎えて

山下 宏

「こむぎいろの天使」雑感

後藤 俊夫

心にのこる三人の恩師

耳塚 寛明

児童映画シリーズ(三部作)

原田 泰治

私が受けた信州教育◇

山下 宏

私が受けた信州教育―山の身心・山の参学―

富田 福代

◇教育実践の記録◇

I 教育の本質を考える

子どもたちと共に歩み、創る授業をめざして

宮本 博

―NIEでの実践を通して得たもの―

後藤 真道

II 教育実践の中から

個が生きる授業を目指して―戦時下の国民に

井出 誠一

視点を当てた授業の中での子の姿を通して

辰野 豊

その子らしさを大切にしたい―国語「スイミ

野中 賢也

―」の実践から―

竹内 隆司

学級経営で―

算数から数学への接続を考える一視点

高本誠二郎

自分の考えや感じたことを明確にし、相手に

伝える文章を書くための指導のあり方

大蔵 真美

体の記憶

阿部 純

分教室から見えるもの―特別支援教育の地域

渡辺 孝次

化―

III 学校運営を巡って

赤羽根直樹

今教育に必要なこと

山崎 晶

教師にとっての「平凡」とは

清水 彰一

出会いを大切に「行ってみる。やってみる」

関川あかね

人が人と繋がるといふこと

藤澤 睦志

できることから始めたい

玉置 龍

人形劇を創る

嶋田 秀樹

涙の色

信州の山々と人々をこよなく愛した父・木村

素衛 6 終焉と教育愛

張 さつき

守屋喜七先生

信濃教育博物館

お礼の気持ちでお片付け

藤澤 陽子

教育実践賞 特選

新たな不登校児童をつくらないための支援―

市街地大規模小学校での実践から―

植生小学校 不登校対応研究グループ

一月(一五〇二号)

巻頭言 縁への一念

巻頭提言 家庭・地域をコーディネートして、子

どもの総合的な発達を促進しよう!

十二月(一五〇一号)

巻頭言 「私一人のために」という体験

◇「信濃教育」の価値◇

雑誌『信濃教育』から学んできたこと―五十

稲垣 忠彦

余年を振り返って―

信濃教育会の四十年余のあゆみ(一〇〇一号

雑誌編集部

◇「信濃教育」の価値◇

雑誌編集部

私を変えてくれた子どもたち

金井 勝久

自己有能感の醸成を願って

井出 誠一

教科指導の転換点となったある日の授業

有賀 稔

II 教育実践の中から

個が生きる授業を目指して―戦時下の国民に

井出 誠一

視点を当てた授業の中での子の姿を通して

辰野 豊

その子らしさを大切にしたい―国語「スイミ

野中 賢也

―」の実践から―

竹内 隆司

学級経営で―

算数から数学への接続を考える一視点

高本誠二郎

自分の考えや感じたことを明確にし、相手に

伝える文章を書くための指導のあり方

大蔵 真美

体の記憶

阿部 純

分教室から見えるもの―特別支援教育の地域

渡辺 孝次

化―

III 学校運営を巡って

赤羽根直樹

今教育に必要なこと

山崎 晶

教師にとっての「平凡」とは

清水 彰一

出会いを大切に「行ってみる。やってみる」

関川あかね

人が人と繋がるといふこと

藤澤 睦志

できることから始めたい

玉置 龍

人形劇を創る

嶋田 秀樹

涙の色

信州の山々と人々をこよなく愛した父・木村

素衛 6 終焉と教育愛

張 さつき

守屋喜七先生

信濃教育博物館

お礼の気持ちでお片付け

藤澤 陽子

教育実践賞 特選

新たな不登校児童をつくらないための支援―

市街地大規模小学校での実践から―

植生小学校 不登校対応研究グループ

一月(一五〇二号)

巻頭言 縁への一念

巻頭提言 家庭・地域をコーディネートして、子

どもの総合的な発達を促進しよう!

◇「信濃教育」の価値◇

雑誌編集部

雑誌『信濃教育』から学んできたこと―五十

稲垣 忠彦

余年を振り返って―

信濃教育会の四十年余のあゆみ(一〇〇一号

雑誌編集部

◇「信濃教育」の価値◇

雑誌編集部

雑誌『信濃教育』から学んできたこと―五十

稲垣 忠彦

余年を振り返って―

信濃教育会の四十年余のあゆみ(一〇〇一号

雑誌編集部

◇「信濃教育」の価値◇

地域のみなさんに支えられ、体験することで育つ子ども達  
新海 吉永  
「足もとの風土」に学ぶ  
出河 裕典

地域との関わりの実践―地域の中の学校として―  
鈴木 茂  
地域とともに―体験を通して学ぶ―  
松澤 貴幸

地域や保護者と共に歩む教育活動の実践  
新井 重則  
地域みんなで応援 とがりっこ  
野澤 博文  
湊 心ひとつ  
高木 克

地域の自然・地域の方々とのひびき合いによる体験活動  
友野 増夫  
稲垣忠彦先生から学んだこと  
尾沼 達也  
赤羽 隆

友の訃報に想う  
新井 雄太  
広がる出会い、学びの輪  
仁科ゆかり  
今を大切に、人と人をつないで  
柔道という道を子どもたちと共に歩んで！

内田 伸二  
リフレッシュはドキドキで  
横田 潔司  
心磨き  
茅野健太郎

閉校する学校を訪ねて  
雑誌図書編集部  
信州の山々と人々をこよなく愛した父・木村素衛 7 父を偲ばれる先生方 張 さつき

淀川茂重先生  
信濃教育博物館  
「交差点で」  
塩野 治幸

二月(一五〇三号)  
巻頭言 存在意義  
巻頭言 私のめざす教育のヴィジョンと信念  
佐藤 学

◇特集 私のめざす日々の教育◇  
◇小学校の実践の中で  
子どもたちと共に歩むノート作り  
小林 翠

自分の考えを広げ、深める授業を目指して  
山口名香子  
命をつなぐ―おかいこさまのババ・ママと歩んだ十二月―  
今井 志保

城山で遊び、城山から学び、城山を考えて、みんなで作った未来へ続くメッセージ  
池田 信三  
心の野金を合言葉にして取り組んだ学級づくり―一人ひとりが安心し、居心地のよいと思える学級を目指して―  
山本めぐみ

子ども達との二年間をふりかえって  
中野 和幸

その子らしく輝くことを願って―更級小学校三組の実践―  
玉井 園子  
子どもってすごい―教育研究所で学んだこと―  
前田 博展

児童が英語に興味を持ち、コミュニケーションの楽しさを味わうことのできる外国語活動をめざして  
西澤 慎治  
子どもたちと歩んだNIE  
塚平麻紀子

◇中・高の実践の中で  
「生きる力」をつける総合的な学習  
黒岩理恵子

一方通行の授業から、仲間との学び合いを通して学ぶ喜びを実感できる授業のための教材や展開の工夫  
池田 健一  
原発事故はなぜ起きたのか―その子の奥深さに向き合う授業の創造―  
中原 功博

全校合唱への取り組みを通して  
鶴田真衣子  
歌い継ぐ歌になれ！「ふるさと中条」  
宮崎 靖代

定時制高校におけるキャリア教育のあり方を求めて―「キャリア教育地域連携紙」の活用―  
白鳥 勲

◇特別支援教育の実践の中で  
人とつながる、人に伝える―伝える楽しさを育てる―  
鈴木しのぶ  
子どもの暮らし  
田城 聡子

三月(一五〇四号)  
巻頭言 決議  
巻頭言 明るく温かな生活を創造する力を育てる  
高部 和子

△テーマ 私の学びと同僚性▽  
同僚性は汗と笑いの中から―職員室の白い丸いテーブル  
小野田正利  
「対話」を交わす仲間とその関係性  
池上 浩人

私たちの挑戦  
後小路正人  
Aさんが教えてくれたこと  
飯島 明子  
合唱指導の魅力  
二村美紀子  
まるごと愛しみ  
山下 同

私の尊敬する先生方  
福島 章浩  
私になりたい「先生」  
西山 行信  
子どもたちの成長を願って  
勝山 優子  
育児休暇を通して  
松本 洋輔  
地域に学ぶ  
信州の山々と人々をこよなく愛した父・木村

素衛 8 愛無限・エピソード 張 さつき  
閉校する学校を訪ねて  
雑誌図書編集部  
東日本大震災並びに長野県北部地震を決して忘れない  
雑誌図書編集部  
地域の絆が学校再開へ―大浦小学校避難所三十六日で深めた絆―  
高橋 澄夫  
復興  
唐木 義則  
東日本大震災とボランティア活動から学ぶ  
池田 淑恵

ボランティア手記  
中澤亜由美  
栄村から学んだこと―青年教師フォーラムより―  
田畑 真志  
動かす力  
押鐘 美幸  
西尾 実先生  
信濃教育博物館  
幸運な学校  
遠藤 義男